

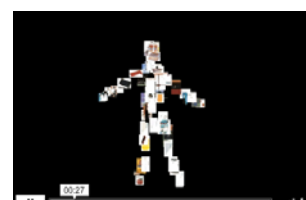
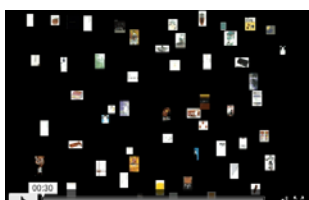
タイトル

視覚的な表象と個人に固有のコンテキストを持つ断片情報の活用環境のデザイン

Designing Environments to Utilize Pieces of Information with Visual Representation and Personal Context

概要

私たちは日々たくさんの断片的な情報に出会います。しかしながら、どこにどのように蓄積するか、蓄積後どのように活用するかといった問題から、なかなか有効活用できないでいます。当プロジェクトは蓄積後の活用インターフェイスに焦点をあて、このような断片的な情報を視覚的な表象とその情報と出会った個人に固有のコンテキストの組として表現し、有効活用するためのインターフェイスについて研究を進めています。

URL <http://dl.kuis.kyoto-u.ac.jp/~hino>

産業界への展開例・適用分野

- ① 個人が情報と付き合うためのツール： ナレッジマネジメントほどフォーマルでも厳密でもなく、蓄積された断片情報を操作し、日常の中で物語ることを入力として、情報と付き合うソフトウェアを試作しています。
- ② 断片情報のアート： 視覚的な表象を持つ断片情報を組織化し、Information Aesthetics（情報の美）という観点からアート作品として展開することが期待できます。現在、美術館やクラブなどのパブリックスペースで参加者の対話を促進すること目的とした作品を試作しています。

研究者

	氏名	専攻	研究室	役職（学年）
展示担当者	日野 亜希子	社会情報学	田中研究室	博士3年